

2017年10月23日

公認心理師試験受験資格にかかる科目履修の要件について

九州大学大学院人間環境学府
臨床心理学講座
修了生及び在校生の皆さま

九州大学大学院人間環境学府
臨床心理学講座
教授 黒木俊秀

公認心理師試験受験資格の要件の一つである現任者講習会の詳細が発表され、修了生・在校生の皆さんもお悩みのこととお察し致します。とくに日本心理研修センターが公表した「受講申込案内」の2頁目(表1)のGコース(実務経験5年以上の現任者)で受験するか、それともDコース(施行前に大学院において省令で定める科目を履修)で受験が可能かについて、受講申込の期間も迫っているため、現在、教員のもとにも多くの問い合わせがあります。

この問題について、現在のところ、臨床心理学講座としては下記の通りに考え、対応したいと思っておりますので、ご周知おきください。なお、今後変更がありうることをお断りしておきます。

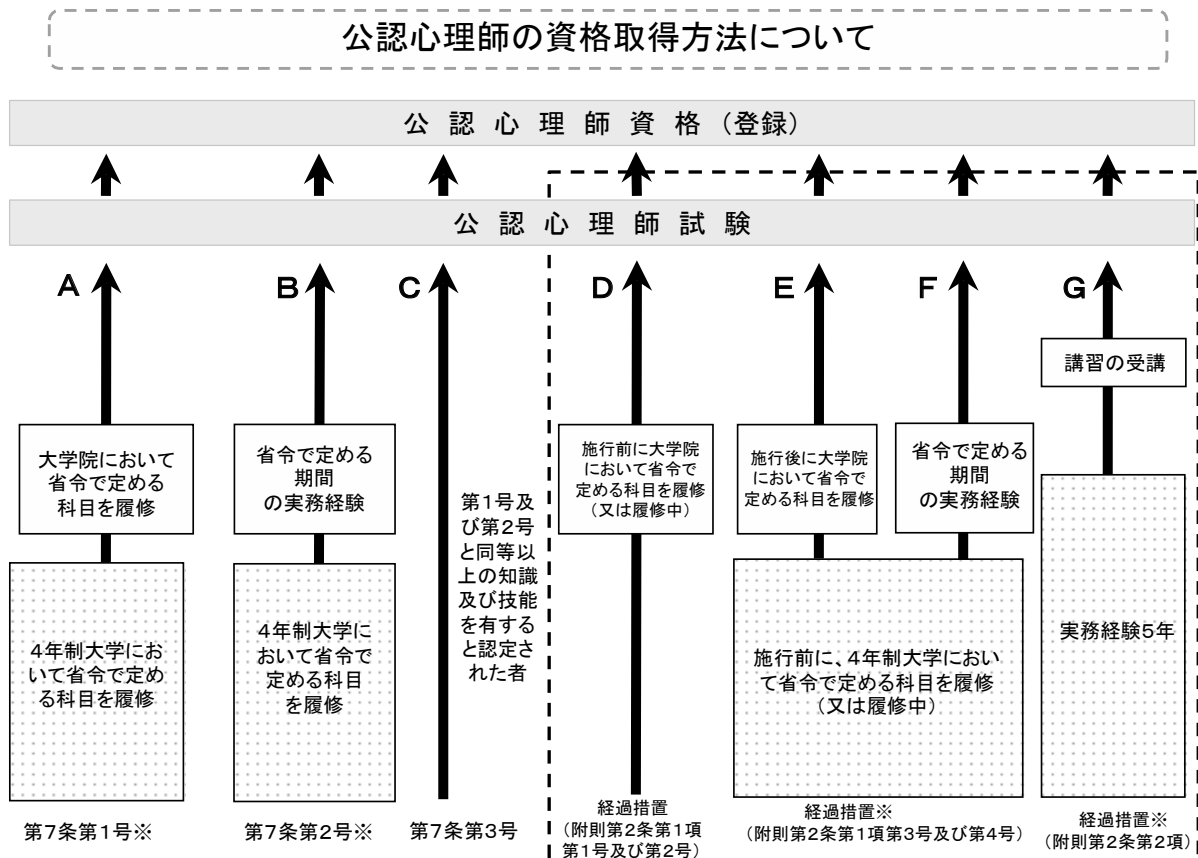
記

1. Gコースの場合：実務経験5年以上の現任者は、講習会受講により公認心理師試験の受験資格が得られるため、大学院科目の履修証明書は不要です。
2. Dコースの場合：本学大学院の修了生であり、かつ、実務経験5年に満たないために、あるいは様々な理由により受講できないために、Dコースを選択する人には、受験申込の手順や期間が発表される日時以降に省令で定める科目の履修証明書を発行する予定です。ただ、来年9月の第1回試験がGコースのみならずDコースの受験者も含むのか、未定です。
3. 経過措置の科目該当の可否については、専門職大学院を開講した2005年以降に本学大学院で学んだ人(実践臨床心理学専攻及び指導研究コース)は添付の科目読替え表をご参照ください。経過措置において必修とされている「①保健医療分野に関する理論と支援の展開」に対応する科目例を履修していない修了生についても、受験資格が得られないなどの不利にならないように臨床心理学講座として個別に科目読替えの追加を検討する考えです。
4. 2005年以前の修了生については、科目の読替え表は作成しませんが、経過措置の科目該当可否について、3と同様に、臨床心理学講座にて個別に科目読替えを検討する予定です。履修の確認作業は大学に一任されていますので、修了年度にかかわらず、できるだけ皆さんが不利にならないように柔軟に対応します。
5. 現在、学生係では成績証明書のみ交付が可能です。各修了生の履修科目が受験要件を満たすか否かの判断は学生係ではできません。指導教員か、またはお知り合いの教員にご相談ください。
6. 受講料は決して安くはありませんが、実務経験5年以上の修了生は、Dコースよりも、是非、

現任者講習会を受講し、Gコースで受験することをお勧めします。講習会では、とくに「精神医学を含む医学に関する知識」が扱われる比重が大きくなっているようです。試験対策のための講習会ではありませんが、試験に向けて従来の臨床心理士の知識や経験を補う意義が大きいと思います(講習会のテキストは、講習会を受講しない人でも購入が可能になります)。

以上

表 1. 公認心理師試験の受験コース (公認心理師現任者講習会受講申込案内より)



※該当条文に基づく受験資格取得者に「準ずるもの」を省令で定めることとされている。

資料：九州大学大学院人間環境学府臨床心理学講座における特例経過措置のための科目読替え表

注：下記の読替え科目のみが対応しているものではありません。今後も加筆修正される可能性があります。履修証明書の申請があった場合、臨床心理学講座にて履修科目の認証を行います。

表 1. 実践臨床心理学専攻科目読替え例

特例措置履修要件	省令で定める科目名		対応する実践臨床心理学専攻科目例
	番号	科目名	
①を含む3科目以上	①	保健医療分野に関する理論と支援の展開	臨床精神医学特論, 臨床精神薬理学特論, 医療臨床心理学特論
	②	福祉分野に関する理論と支援の展開	障害臨床心理学特論, 福祉臨床心理学特論, 乳幼児臨床心理学特論
	③	教育分野に関する理論と支援の展開	教育臨床心理学特論, 学生相談学特論, スクールカウンセリング特論, 児童・青年期臨床心理学特論
	④	司法分野に関する理論と支援の展開	司法・矯正臨床心理学特論
	⑤	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	組織・集団支援学特論, 産業組織臨床心理学特論, 対人関係論
2科目以上	⑥	心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定学演習, 投影法特論, 人格心理学特論, 臨床心理査定学実習
	⑦	心理支援に関する理論と実践	臨床心理面接学演習, 臨床心理学原論演習, 臨床心理事例研究演習, 治療構造論, カウンセリング特論, 臨床アクションメソッド特論, 関係論的心理療法学
	⑧	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	臨床心理地域援助学演習, 集団臨床心理学特論, 家族臨床心理学特論
	⑨	心の健康教育に関する理論と実践	健康支援学特論
必修(時間は問わない)	⑩	心理実践実習 (450時間以上)	臨床心理面接学実習, 臨床心理地域援助学実習

表 2. 指導・研究コース科目読替え例

特例措置履修要件	省令で定める科目名		対応する指導・研究コース科目例 ()内は実践臨床心理学専攻科目
	番号	科目名	
①を含む3科目以上	①	保健医療分野に関する理論と支援の展開	精神医学特論, 大脳生理学特論, 臨床心理学特論, (臨床精神医学特論, 臨床精神薬理学特論, 医療臨床心理学特論)
	②	福祉分野に関する理論と支援の展開	障害心理臨床学基礎論, 生涯発達学演習, 発達障害臨床演習, 発達相談学
	③	教育分野に関する理論と支援の展開	学校臨床心理学演習, 児童期・青年期臨床心理学基礎論, (教育臨床心理学特論, 学生相談学特論, スクールカウンセリング特論, 児童・青年期臨床心理学特論)
	④	司法分野に関する理論と支援の展開	(司法・矯正臨床心理学特論)
	⑤	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	(組織・集団支援学特論, 産業組織臨床心理学特論, 対人関係論)
2科目以上	⑥	心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定学演習, 臨床人格心理学特論, 人格心理学特論, (投影法特論, 臨床心理査定学実習など)
	⑦	心理支援に関する理論と実践	心理面接学特論, 臨床心理面接学特論, 体験的心理療法学基礎論, 心理療法学, 精神分析学, (治療構造論, カウンセリング特論など)
	⑧	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	集団心理療法学, コミュニティ・アプローチ特論, 家族心理学特論
	⑨	心の健康教育に関する理論と実践	(健康支援学特論)
必修(時間は問わない)	⑩	心理実践実習 (450時間以上)	臨床心理基礎実習Ⅰ, 臨床心理基礎実習Ⅱ, 臨床心理実習Ⅰ, 臨床心理実習Ⅱ